

市政懇談会

皆さんから多くの

ご意見をいただきました

市政懇談会の結果報告

7～8月にかけて、市内15か所で市政懇談会を実施しました。延べ469人の市民に参加いただき、さまざまなご意見、ご要望をいただきました。これらの貴重なご意見を受け止め、今後のまちづくりを進めていきます。今回は、その一部をご紹介します。詳細については、笠間市ホームページをご覧ください。



Q 合併に伴う国の財政的支援策の内容と金額、具体的事業内容について説明してください。

A 今回の合併で130億円の合併特例債を受けますが、その70%に当たる約90億円が国の交付金として還元されるため、実際には40億円の財源となります。この40億円と国庫補助を合わせて総額約200億円の事業が10年間で実施できることとなりますが、具体的な事業として、旧3市町を結ぶ幹線道路12路線の整備に100億円程度、中学校の耐震化に60億円程度を計画しているほか、岩間駅東口と周辺整備、笠間支所・岩間支所の整備等を推進していきます。なお、合併特例債は将来に向けて借金を残すという意見が一部にあります。旧3市町で計画していた事業を先行して実施していくということですので、ご理解をお願いします。

Q 広報かさまお知らせ版はA3判・両面刷りなので非常に見づらいです。

A 回覧のバインダーには上綴じと横綴じがあります。お知らせ版はA3判・横書き・両面刷りなので、上綴じだと見づらく、横綴じだと見やすいなどの違いがあります。また、ほかの文書では上綴じのほうが見やすいものもあるなど、今後さまざまな課題があります。多様なケースに対応できるバインダーを作るとなると大変な経費がかかります。回覧文書はバインダーからはずしてお読みになるなど、しばらくのご辛抱をお願いします。

Q 笠間市にはどれぐらいの借金があり、どうやって返済していくのでしょうか。また、起債残高と短期借入金、財政力指数についても説明してください。

A 今年度の一般会計270億円のうち、借入れが30億円で、返済が23億円です。市役所の借金は一般家庭の住宅ローンなどと同じく、長期の中で返済していくものです。収支のバランスをよくとりながら財政運営をしています。なお、一般財源に占める借入れ率を公債費負担比率といいます。笠間市は11%で優良な財政運営を行っています。起債残高は特別会計を含めて約500億円ですが、返済については今後徐々に減ってきます。短期借入の一時借入金はありません。また、市の財政力指数は0.6です。

Q 旧友部町では区の行事に町有バスを利用することができましたが、合併後は市主催の行事に限られることになりました。従来どおり利用できるようにしてください。

A 道路運送法第80条で家用車の有償運送が禁止されていますし、関東運輸局と警察からも厳しい通達が来ています。市有バスの使用は市主催の行事に限るものとし、法に基づいた運行方針を出しましたので、ご理解をお願いします。

Q 防災無線戸別受信機によるお知らせを楽しみにしていましたが、合併後は使用頻

度が減ってしまいました。有効活用をお願いします。

A 旧岩間町では戸別受信機を活用し、旧笠間市・友部町では一斉放送をしてきましたが、合併調整の中で3市町の足並みをそろえ、災害等の最低限の放送にさせていただけました。旧岩間町では広報紙を隔月で発行してきましたが、情報不足を補うため、広報紙を毎月1回、お知らせ版を毎週発行していますのでご理解をお願いします。

Q 平成18年度の国保税引き上げの根拠についてお尋ねします。

A 平成18年度の国民健康保険税については、旧友部町・岩間町に計上されていた資産割を計算せず、所得割8・4%、均等割額23,100円、平等割額21,000円の3方式としました。なお、税額が一律に上がるのではなく、今まで資産割が課税されていた世帯は概ね安くなり、資産割が課税されていなかった世帯は概ね高くなるものと思われまます。一方、40歳から64歳までの国保加入者に計上される介護分につきましては、所得割1・9%、均等割額10,500円としました。また、前年の所得が一定基準以下の世帯については国保税の軽減を図っています。

Q ごみ袋が薄くて破れやすいです。また、45リットルの袋が値上がりしましたが、その差額で袋をもっと丈夫にしたり、カラス対策の黄色い袋を導入したりしてはどう

でしょうか。

A ごみ袋は、合併調整の中で旧友部・岩間で使っていたピンク色の袋に統一しました。値段は45リットルの袋10枚入りで旧笠間では197円から200円に値上がりし、20リットルの袋は122円から100円に下がりがり、不燃物処理券が笠間で500円から400円に下がり、友部・岩間で200円から400円に上がりました。差額については、資源物回収への助成や生ごみ処理機の補助などに2,400万円を充当しています。また、水戸市で採用している黄色い袋についても検討していきます。

Q 児童・生徒の下校時の安全対策として地域のパトロールを行っていますが、防犯灯の増設など、できることからお願いします。

A 防犯灯の設置には市の補助制度がありますが、内訳として、電柱がある場合は1基当たり1万6千円、電柱がない場合は1基当たり4万円、また、1区当たり最高15万円で経費の3分の2を限度に補助していますので、各区で要望してください。

Q 現在、市議会議員の在任特例をめぐる署名活動が行われていますが、議会としての見解をお示しく下さい。

A 旧3市町のそれぞれの制度を一本化するため、合併協議会の中ですり合わせ作業を行ってきましたが、すべての作業が完了したわけではありません。現在もそのすり

合わせを行っている最中であり、運営上支障をきたすおそれがありますので、まだ解散すべきではないと考えております。署名活動は城里町、常陸太田市、常陸大宮市、桜川市で行われてきましたが、民意の署名が3分の1あれば真摯に受け止めなければならぬと考えています。しかし、およそ2,000件に上る項目のすり合わせをすべて完了させ、最良の合併にしたいという気持ちでおりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

Q 岩間駅と友部駅周辺整備の進捗状況についてお伺いします。

A 岩間駅については合併特例債を導入し、平成22年度の完成を目指しており、今年度に駅と通路の設計に入ります。友部駅は合併前から事業化しており、基金と補助事業によって事業を進めています。来年3月に自由通路の完成が予定されています。

Q 岩間駅東口の整備の見通しについてお尋ねします。

A 駅東口については、自由通路と駅舎の橋上化を計画しています。本年度は駅舎と自由通路の基本設計を進めています。前広場と都市計画道路の整備、区画整理、上下水道の整備を一体的に計画しています。

問合せ

秘書課(内線224)